

# たかつきの財政状況



問 財務管理室 / Tel.674-7352 ID 067945

令和5年度普通会計は、歳入が1,398億6,100万円、歳出が1,349億6,200万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源22億4,100万円を差し引いた実質収支は26億5,800万円の黒字決算でした。

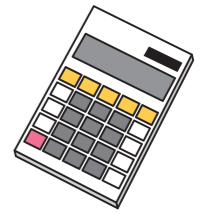
## 新型コロナ5類移行により歳入歳出ともに縮小

令和5年度は、引き続き、物価高騰対策としてプレミアム付商品券の発行（第5弾）や水道基本料金の6カ月分無償化などを実施しましたが、新型コロナが5類感染症に移行した影響などにより感染症対策経費が減少したことなどから、決算規模は歳入歳出とも前年度に比べ縮小しました。決算の詳細は市ホームページをご覧ください。

歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支
139,860,614	134,961,546	2,240,877	2,658,191

歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支
139,756,746	135,048,824	2,049,731	2,658,191

会計名	歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支
国民健康保険	36,036,343	35,791,202	0	245,140
介護保険	33,143,755	32,400,557	0	743,197
後期高齢者医療	7,496,831	7,231,172	0	265,660
母子父子寡婦福祉資金貸付金	236,830	45,684	0	191,146
財産区	4,677,744	82,128	0	4,595,615



**普通会計**  
…各地方公共団体の財政状況を同一の基準で比較できるように、公営事業以外の会計を一定のルールに基づいて取りまとめたもの。高槻市では、一般会計と母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計が含まれる

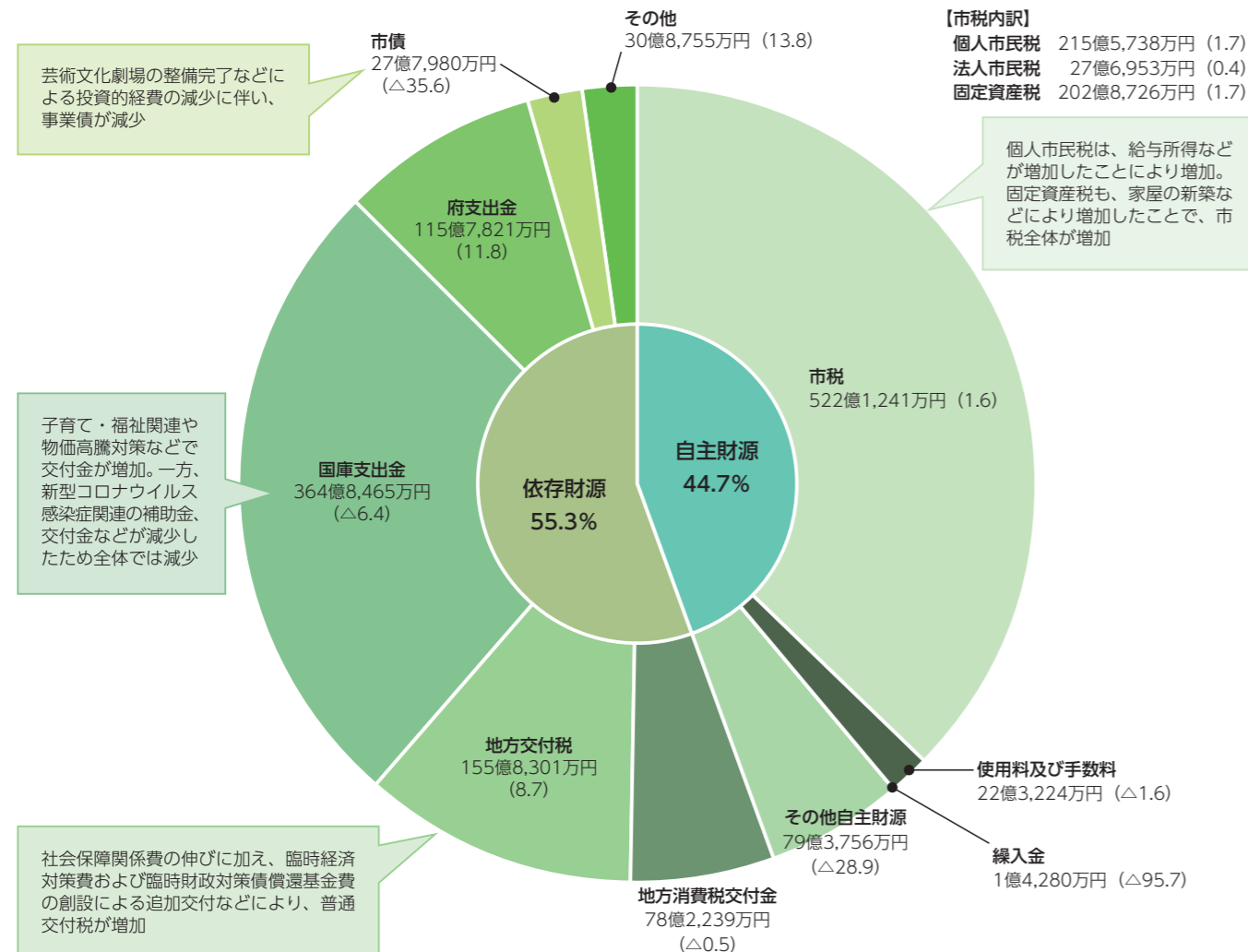
**一般会計**  
…福祉、医療、教育や都市環境の整備を行うための会計。市税が主に使われる

**特別会計**  
…保険料収入などを財源とする特定の事業に関する会計。原則、独立採算制をとる

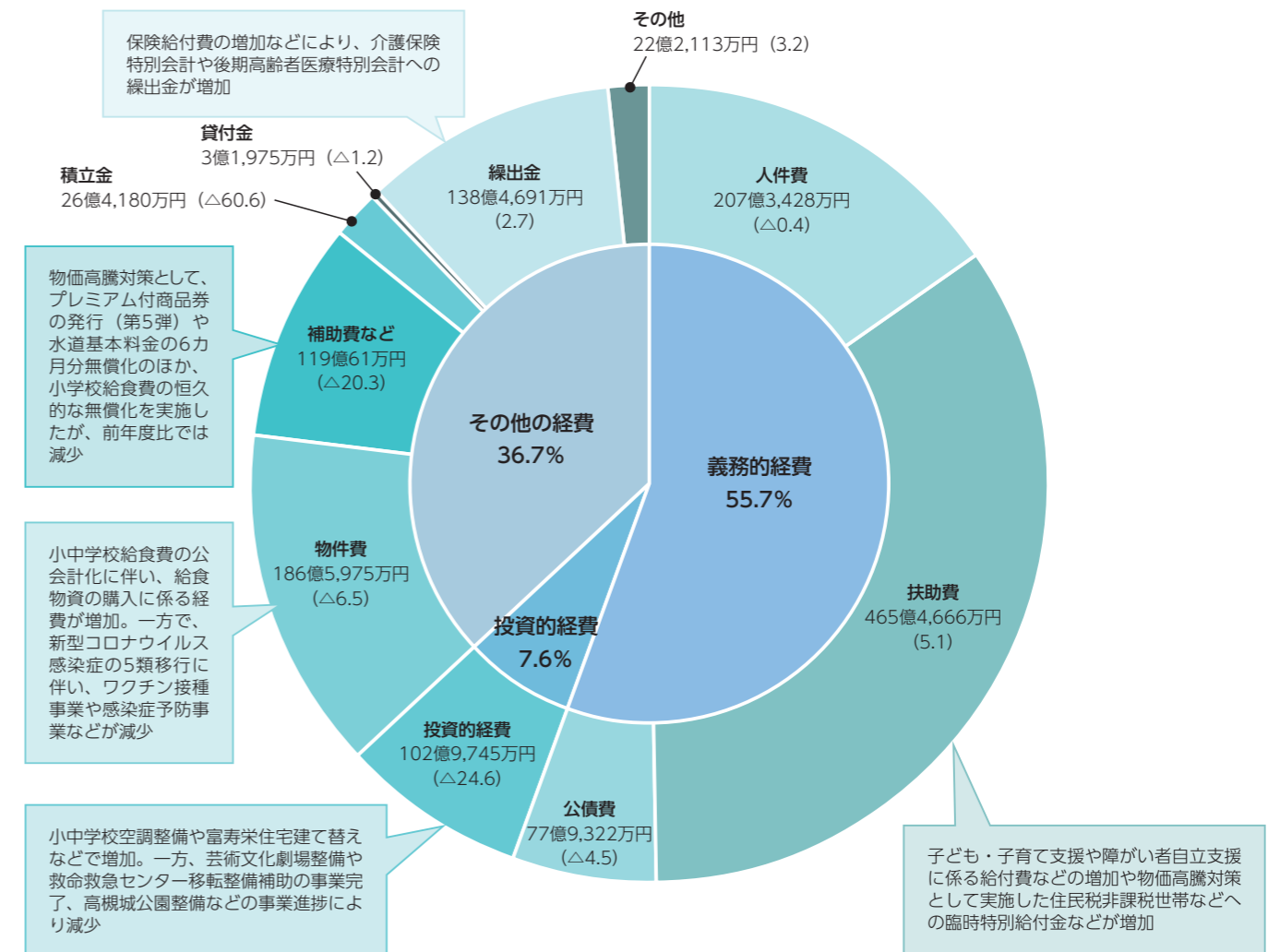
## 普通会計の内訳

令和5年度の普通会計の歳入、歳出の内訳です。前年度と比較して増減した主な理由をお知らせします。  
※カッコ内は前年度比増減率。△はマイナス。表示単位未満は四捨五入

### 歳入 1,398億6,061万円 (前年度比68億7,872万円減↓)



### 歳出 1,349億6,155万円 (前年度比100億7,908万円減↓)





## 令和5年度の 主な取り組み

令和5年度の主たる取り組みを写真と合わせて紹介します。金額は、各事業に関連する歳出額の合計です。  
※表示単位未満は四捨五入

### 芥川緑地に健康づくり広場 (アクトレ) が開園



関西最大級30基の健康遊具を備えた健康づくり広場(アクトレ)がオープンしました。体力レベルや運動目的に合わせた5つのエリアを整備。

2億4,530万円

### 「健康医療先進都市」の推進に向け 市と4団体が協定を締結



市が、大阪医科薬科大学、市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会と「『健康医療先進都市』推進のための連携に関する協定書」を締結。

### 富寿栄住宅建て替え 1期住宅棟が完成



富寿栄住宅建て替えの1期住宅棟が完成し、入居が完了。建て替え事業の完了は令和8年度を予定。

11億4,160万円

### 高槻版地域共生社会モデル空間 整備基本計画を策定



あらゆる世代の人が集い、にぎわいや交流の拠点となる「(仮称)地域共生ステーション」の整備基本計画を策定。

1,951万円

### 小学校の給食費も 恒久的に無償化

北摂初



令和4年度からスタートした中学校給食費の無償化に続き、小学校給食費の恒久的な無償化も開始し、家計の負担を軽減(金額は小中学校の合計額)。

10億5,789万円

### 読む・調べる楽しさを 学校図書館の蔵書増冊



子どもたちの読書環境の充実を図るため学校図書館を令和5年度から8年度にかけて増冊する「学校図書シン100万冊計画」がスタート。

7,674万円

### 小中学校をより快適に 特別教室などに空調新設



より快適な学びの場を提供するため、全校の特別教室へ空調を新たに設置。併せて普通教室の機器更新も実施。さらに、令和7年度までに全校の体育館への設置も完了する予定。

31億9,350万円

### 将棋駒配布やタイトル戦開催など 将棋文化を振興



「将棋のまち高槻」として、小学校1年生への将棋駒の配布、タイトル戦の誘致、将棋イベントの開催などを通じて将棋文化を振興。

8,694万円

### 物価高騰に対する 主な支援策

総額: 72億6,435万円

市独自支援策 (★印)

- ★ 水道料金(基本料金)の6カ月分無償化を実施(7億6,473万円)
- ★ プレミアム率最大162.5%の商品券「スクラム高槻地元のお店応援券」第5弾の発行(15億6,605万円)
- ★ 保険医療機関・保険薬局、就学前の教育・保育施設、販売農家、社会福祉施設などに各支援金を支給(9,337万円)
- ◆ 住民税非課税世帯・住民税均等割のみ課税世帯に給付金(1世帯10万円、子ども1人5万円加算)を支給(48億4,020万円)



### その他の主な取り組み

- <都市機能>
  - ◆ 高槻駅前線(JR高槻駅~上宮天満宮)の無電柱化に向けた測量・実施設計を実施(3,880万円)
  - ◆ 木造住宅と分譲マンションの耐震化を促進(耐震診断と除却費用の補助を拡充)(6,514万円)
- <健やかな暮らし>
  - ◆ 高槻島本夜間休日応急診療所の新施設での運営を開始(1億9,954万円)
  - ◆ がん検診を無料で実施(8億686万円)
  - ◆ 障がい児者の歯科診療を実施(診療日数を拡充)(4,923万円)
  - ◆ 新型コロナウイルスワクチンの接種を実施(11億6,074万円)
- <良好な環境>
  - ◆ エコハウス補助金などにより省エネ・創エネ機器設置などを支援(1,503万円)

### <安全・安心>

- ◆ 市民防災協議会と協働で、榎田地区での防災ワークショップの開催や各地域の防災訓練の支援などの取り組みを実施(187万円)
- ◆ 中消防署富田分署の建て替えおよび多機能型消防団等訓練施設の整備(2億7,050万円)
- ◆ 特殊詐欺などによる被害の未然防止の取り組みを実施(1,052万円)

### <街のにぎわい>

- ◆ 観光協会や商工会議所などと連携し、「オープンたかつき」を実施(2,500万円)
- ◆ 観光プロモーション「BOTTOたかつき」の取り組みを推進(1,400万円)
- ◆ 国史跡芥川城跡の保存と活用を推進(163万円)

### <子育て・教育>

- ◆ 子ども医療費助成を18歳まで実施(15億8,343万円)
- ◆ 新生児聴覚検査の費用助成を開始(298万円)
- ◆ 35人学級編制を中学校も全学年に拡大(3,452万円)
- ◆ 中学生に加え、小学校5・6年生を対象に「学びup↑講座」を開始(3,145万円)

### <市民生活>

- ◆ コミュニティ市民会議や各地区コミュニティのまちづくり活動を支援(2,229万円)
- ◆ マイナンバーカードの普及を促進(3億1,229万円)

### <行財政運営>

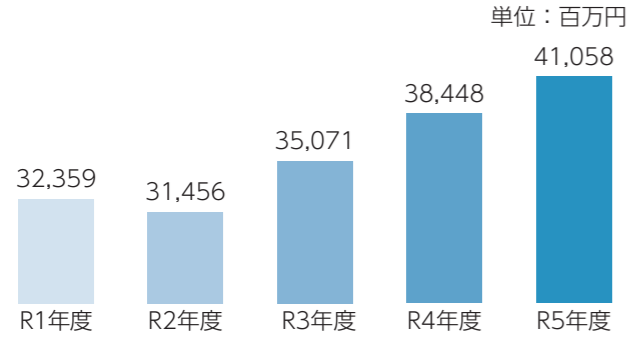
- ◆ 市制施行80周年を記念し、式典やさまざまなイベントを実施(1,918万円)
- ◆ 行政手続きのオンライン化を推進(電子申請システムへのキャッシュレス決済機能の追加など)



## 財政指標

主要な財政指標から見ると、借金・貯金・経常収支比率いずれの指標も健全性が保たれています。また、国が定める健全化判断比率も全て基準を下回り、健全な財政運営ができています。 ※表示単位未満は四捨五入

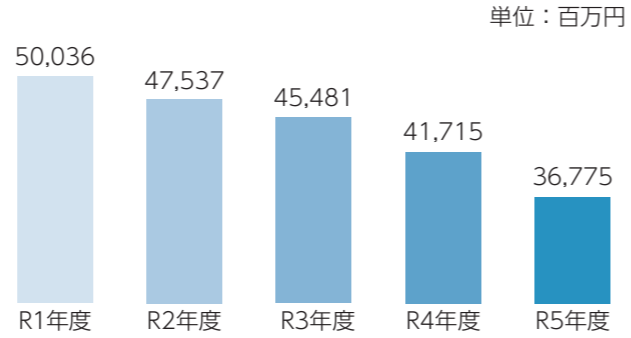
**積立金残高 (市の貯金) 410億5,800万円**  
前年度比26億1,000万円増↑



市民1人当たりの積立金残高 (貯金の多さ)  
府内ランキング 第12位/33市

【積立金】  
財政の安定化や将来の財政需要に備え、財政調整基金や公共施設等総合管理基金など、目的に応じて積み増しています。

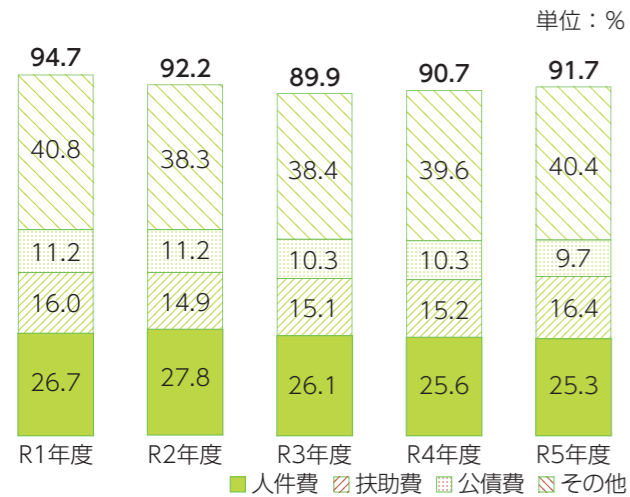
**市債残高 (市の借金) 367億7,500万円**  
前年度比49億4,000万円減↓



市民1人当たりの市債残高 (借金の少なさ)  
府内ランキング 第1位/33市

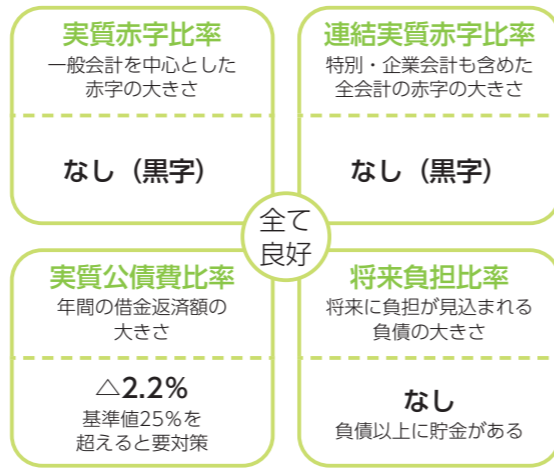
【市債】  
主に道路や公園、学校施設など、公共施設の整備を行うため、国などから資金を調達するものです。

**経常収支比率 91.7%** 前年度比1.0ポイント増↑



【経常収支比率】  
経常的にかかる経費が、自主的に使える財源に占める割合。比率が高いほど、臨時出費にお金を回す余裕がなくなる。

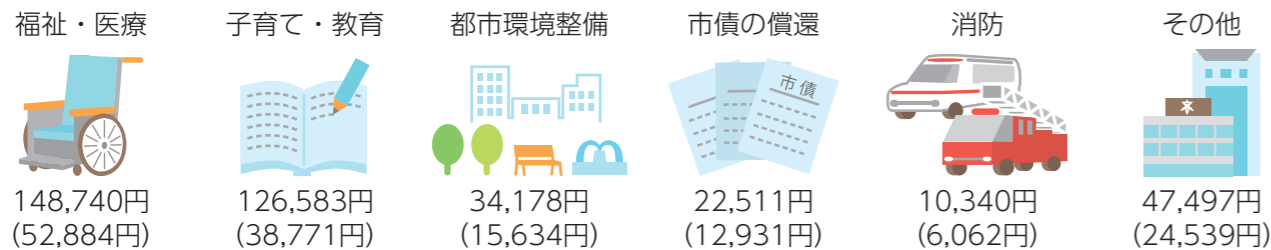
## 健全化判断比率



全ての指標が基準値を下回る良好な結果です。計画的に財源を確保しながら貯金や借金の返済を行ってきたことによって、健全財政を維持できています。

**市民1人当たりの支出額 389,849円※ (150,821円)** ※新型コロナ・物価高騰対策分27,770円を含む

普通会計の年間の総支出額を市民1人当たりになると、約39万円でした。内訳は次のとおり。



※表示単位未満は四捨五入。カッコ内は各金額のうち、市税を財源とする額。令和6年3月末の人口で計算

## 公営企業の経営状況

公営企業会計は、地方公営企業法に基づく企業として、経済性を発揮するための会計処理方式で、独立採算制による経営が原則とされています。市の3つの公営企業会計の決算をお知らせします。

	水道	下水道	市営バス
総収益A	5,980,204	8,571,735	3,474,775
総費用B	5,196,579	8,288,857	3,384,518
純損益A-B	783,625	282,878	90,257
利益剰余金残高	5,213,369	686,906	2,888,082
企業債残高	252,602	28,774,732	0

※表示単位未満は四捨五入

## 水道 水道料金収入の減少や物価高騰などで黒字額減



管路の更新工事

**黒字 7億8,362万円**

水需要の減少に加え、物価高騰などの影響を受け、黒字額は3年連続で減少しました。今後、さらに厳しい経営環境になることが見込まれます。将来にわたる安定経営について検討を進めるとともに、大規模災害に備え、基幹管路・重要給水施設管路の耐震化など水道施設の強靱化 (きょうじんか) を着実に推進します。

### 令和5年度の主な事業

- ◆ 将来にわたり安定した経営を行うための方策について水道事業審議会に諮問
- ◆ 水道部庁舎耐震改修
- ◆ 大冠浄水場非常用発電機棟新築・電気設備工事
- ◆ 西冠2丁目地区などで配水管布設工事 (配水管を総延長7,616m敷設・更新)
- ◆ 奈佐原受水場阿武山送水1・2号阿武野送水2号ポンプ更新工事

## 下水道 使用料減収に物価高騰の影響受けるも黒字維持



市民公募のデザインマンホールふたを設置

**黒字 2億8,287万円**

少子高齢化などによる使用料の減収、物価高騰による経費の増加などにより黒字額は前年度から減少しました。今後、さらに厳しい経営環境になることが見込まれます。各種計画に基づく事業費の平準化やコスト縮減に努めるだけでなく、新たな自主財源の確保など、持続可能な事業経営に取り組みます。

### 令和5年度の主な事業

- ◆ 成合処理分区などの汚水整備
- ◆ 高槻東1号幹線の管きょ耐震化工事
- ◆ 災害用マンホールトイレの整備 (北日吉台小学校ほか5校)
- ◆ 管きょの改築工事 (大和1丁目など)
- 市制施行80周年記念事業**
- ◆ マンホールふたデザインコンクールを実施

## 市営バス 各種価格高騰も利用客増で黒字決算



70周年記念ラッピングバス

**黒字 9,025万円**

各種の価格高騰などで費用面が圧迫され、経営環境が厳しい中ではあったものの、新型コロナの5類移行で外出機会が増加した結果、黒字決算となりました。今後、物価高騰による費用の増加や人口減少に伴う乗客数の減少などが予測されるため、引き続き健全経営の維持に取り組みます。

### 令和5年度の主な事業

- ◆ 安満遺跡公園を経由する新路線を開設
- ◆ ドライバー異常時対応システムを搭載した車両に更新
- 70周年記念事業**
- ◆ 安満遺跡公園で記念イベントを実施
- ◆ 記念トミカを販売
- ◆ 記念切手、記念誌の制作
- ◆ ラッピングバスの運行など